

さかの しょうへい
16. 坂野 昇平さん

就業のきっかけ

北海道千歳市出身で小中高は函館で過ごし、岩手大学へ進学しました。大学在学中に小規模林業、特に馬搬※¹に魅力を感じたので修士論文のテーマにしました。研究する過程で北海道厚真町を訪れ、馬搬で生計を立てる西埜将世さんや中川貴之さん（後に厚真町で製材工場を起業）に出会ったことが刺激になり、後にこの地に移住する大きなきっかけとなりました。

その後一年間ドイツの林業大学へ留学したのですが、この頃、厚真町職員の宮久史さんから地域おこし協力隊（ローカルベンチャースクール、以下「LVS」）へのお誘いをいただいていた。しかし、2018年の胆振東部地震の影響で募集自体が中止になってしまったため、岩手県の馬方※¹さんに付いて一年間全国を回ることになりました。

2019年、LVSに正式エントリーしたのですが、新卒で社会人経験がないまま協力隊になることにためらいを覚え、一次選考会の後に辞退しました。その後企業での勤務を経て、晴れて協力隊となり事業を起こしました。様々な人との縁があって北海道に戻ってきたという感じです。

※¹馬搬…山で伐り出した木材を馬で運搬する伝統的な森林作業。現在は機械化の進展により衰退。馬方は馬搬の使い手のこと。

仕事のやりがい

お客さんのニーズを聞きながら一緒にモノづくりをして喜んでもらえることです。

私は木工製作以外の仕事も行っていることもあり、林業の川上から川下まで※²、様々な分野の人と出会うことが良いところだと思います。

【チェーンソーの手入れ】



仕事の大変なところ

いただく注文のそれぞれがオンリーワンであり一般的ではないので、価格設定に悩むことがあります。

また、樹種によって堅さ柔らかさが違うので、試行錯誤をしながら木工品を製作しています。



morinov
(厚真町起業型地域おこし協力隊)
木工製作

〒059-1622
厚真町字宇隆352

年齢 30歳
勤続年数 3年

仕事内容

木工品製作（NCルーターを用いたコースターやカッティングボード、オーダーメイドの看板、表札等の製作）の他、木炭づくりの手伝い、造林や下刈りなどの森林整備作業も行っています。

木工品の材料は地域で産出される道産材（特に広葉樹）にこだわっています。



【工房での作業】

胆振の魅力

雪が少ないですし、住んでいて特に不満はないです。新千歳空港から30km弱とアクセスが良いためか、色々な人が訪れてくれるので出会いが多いです。

また、厚真町は林業が盛んなため、町と林業、町と森の距離が近く感じられるのが良いと思います。

林業に興味を持っている方へメッセージ

林業は川上から川下まで※²裾野の広い業界です。男性女性、体を動かすのが好きな人嫌いな人など、どんな適性の人でも絶対どこかにはまるポストがありますし、色んなことができるからこそ飽きっぽい人に合っていると思います。

昔は林業といえば山でどんなことをしているか知ってもらう機会がほとんどなかったですが、今はどんな場所からでも情報発信するツールがあります。

身近に感じてもらうことで、林業はこれからもっと伸びていく業界だと思います。

※²川上から川下まで…木材の流通経路を川の流りに例えた言葉。木材を生産する林業を「川上」、利用する建設業・消費者を「川下」その間を繋ぐ木材加工・流通業などを「川中」と呼ぶ。